

2024年3月期 決算の概要

親会社株主に帰属する当期純利益は、1,589億円と、前期比14億円の減益となったものの、業績目標(1,500億円)に対して、105.9%での着地となりました。

連結業務粗利益は、前期比274億円増加の6,274億円、実質業務純益は、前期比156億円増加の2,113億円となりました。

中計のKPIとしているコア収益(実質ベース)は、人的・知的資本への先行投資などで経費が増加する一方、金利環境を捉えた資金利益の増加、フィー収益の増勢基調維持により、通期目標対比105.8%の1,587億円となりました。

国内預貸金利益は、前期比20億円減少の3,321億円となりました。通期ベースでは減益となりましたが、下期は前年同期比7億円の増益に転じています。

円債利息等は、前期比54億円増加の309億円となりました。金利環境変化を踏まえた有価証券ポートフォリオの構築により、大幅に増加しました。

フィー収益は、前期比48億円増加の2,135億円で、4期連続の増益かつ、前年に続き、過去最高益を更新しました。

債券関係損益(先物込)は、264億円の損失ながら、前年に実施した外債ポートフォリオ健全化の反動により、前期比では213億円の改善となっています。

経費は、前期比118億円増加の4,165億円となりました。人件費はベアを含む処遇改善などで50億円、物件費は機械化関連経費、広告費を中心に66億円増加しましたが、ともに計画内でコントロールしています。

株式等関係損益(先物込)は、政策保有株式の削減が計画を上回るペースで進捗したことにより、前期比62億円増加の601億円となりました。

与信費用は356億円の費用発生、通期計画(380億円)に対する費消率は93.8%となりました。前期比197億円の悪化となりま

したが、2023年3月期実績に大口先のランクアップに伴う戻入影響が含まれるほか、リソナブルグニア銀行において抜本的な引当強化を行ったことなどが背景です。

(億円)

りそなホールディングス連結	2024年3月期	
	2024年3月期	前期比
親会社株主に帰属する当期純利益	1,589	△14
1株当たり当期純利益(EPS、円)	67.77	+0.29
1株当たり純資産(BPS、円)	1,184.76	+119.45
株主資本ROE	7.2%	△0.3%
東証基準ROE	6.0%	△0.5%
業務粗利益	6,274	+274
資金利益	4,216	+23
うち国内預貸金利益*1	3,321	△20
うち円債利息等*2	309	+54
フィー収益	2,135	+48
フィー収益比率	34.0%	△0.7%
その他業務粗利益	△77	+201
うち債券関係損益(先物込)	△264	+213
経費(除く銀行臨時処理分)	△4,165	△118
経费率	66.3%	△1.0%
実質業務純益	2,113	+156
コア収益(実質ベース)*3	1,587	△48
株式等関係損益(先物込)	601	+62
与信費用	△356	△197
その他の臨時・特別損益	△129	△41
税金等調整前当期純利益	2,230	△20
法人税等合計	△646	△13
非支配株主に帰属する当期純利益	6	+19

*1 銀行合算、銀行勘定(譲渡性預金を含む)

*2 円債利息・金利スワップ収益

*3 国内預貸金利益+円債利息等+フィー収益+経費、

特殊要因(合同金信影響+24億円、リース2社完全子会社化要因△11億円)除く

【親会社株主に帰属する当期純利益の前期比増減要因】

(億円)

